

建設労働

〒556-0015
 大阪市浪速区敷津西
 2-7-17
 大阪建設労働組合
 発行責任
 執行委員長 谷内 邦久
 編集 集教宣部
 一部20円 干別

大建労本部
 TEL 06-6632-2875
 FAX 06-6643-5307
 求職 06-6647-2587
 daikenro@hera.eonet.ne.jp
 大建国保本部
 TEL 06-6631-7112

木と対話し 木と刃物と砥石に 愛されるのは誰だ



匠の技を磨き合う飽田堅次さん(写真中央)と浜崎煌大くん(写真右側)

第四十一回削る会 全国大会 大阪 交野大会

【教育宣伝部発】
 四月十二日(土)～十三日(日)に大阪の交野市で開催された削る会。

大阪での開催は二十六年ぶりである。「全国削る会」は、削った削り華(鉋)の薄さを競い合う大会で、全国の削り手が集結する。大建労の、飽田堅次さん(寝屋川支部)と天会を通じて絆を強めた仲間、浜崎煌大くん(交野支部)と優勝を目指して切磋琢磨する姿を取材した。

普段は、大阪で大工としてリフォームや新築工事に携わる飽田さんは職人の世界に入ってから四十一年。これまでに十回程度出場し、三位になったこともある実力者だ。

一方で、「千分の一ミリの世界で優勝を目指すには練習が欠かせない。仕事が終わった後に自宅練習している。日曜日は、大会側から一緒に削った。削ること興味がある」と母に言われて見学にきたそうだ。

後、大会側から一緒に削った。削ること興味がある」と母に言われて見学にきたそうだ。

後、大会側から一緒に削った。削ること興味がある」と母に言われて見学にきたそうだ。

悔しさをバネに

「これまでの練習の成果が出る。諦めずにとこ

税金・労災など未加入者へPRを

四月五日で春の拡大月間(仲間を増やす)は終了しましたが、引き続き身近な新入職者や税金申告労災保険加入などで悩んでいる組合未加入者の方を、ぜひ支部まで紹介してください。ご協力をお願いします。

「浜崎煌大くんとの出会いと話す飽田さん。」

「削る会を通じて、建築に興味を持ってもらえ、子どもたちが一人でも増える」と嬉しい。削る会がもたらす【興味】を建設業にも話してくれた。

日本の技術を次世代へ

周知活動と出場者の応援を兼ねてパンフレット、広告とブース出展をしてきた大建労。

大建労のブース出展

「寝屋川支部 岡田洋人」組合などでCCUS関連の話はよく聞きます。事務所でCCUS登録会が、実際に組合が関与してCCUSについてお手

インボイス制度の見直しおよび負担軽減措置の延長を求める署名運動にご協力を

【税金対策部発】

インボイス制度の導入でやむを得ず免税事業者から課税事業者へ転換した事業者は多くいます。全建連連のアンケートでは、免税事業者から課税事業者へ転換した方の六五%以上が「価格据え置き」また免税事業者を継続した方の三七%が「取引先から消費税相当

額を値引きされた」と回答しており、厳しい実態が浮き彫りとなっており、また、財務省は消費税申告の二割特別・八割控除などの負担軽減措置に

ついて令和八年九月末まで終了する意向を示しており、延長には本年秋に始まる、来年度の税制改正に盛り込む必要がありま

す。このような状況を打開するために、全建連連で例・八割控除などの負担軽減措置の適用期間の延長です。

署名内容は①インボイス制度について、小零細な課税事業者の納税額増くをお願いします。(取り組み期間は八月中旬まで)

【住吉支部 中野照司】

小学三年生の時、聖徳太子をせいとくたいしと言った。塾の先生や同級生に笑われました。悔しくて小説や本を読み漁り、文章や漢字を一生懸命覚えたのが懐かしい思い出です。大建労に加入してから、これまでに学んだ文章や漢字を何か役立

私と建設労働

てることが出来ないかと、教宣部の建設労働に興味を持ちました。初めに投稿した記事で、松本さんが掲載して下さった印象深い思い出があります。村崎さんには、「コーヒーに虹が出たを、柄谷さんにも色々な記事を掲載していただきました。私にとって建設労働は人生そのものであり、大切な宝物です。

「和をもって尊しとなす」(聖徳太子)は、初めて投稿した記事で、松本さんが掲載して下さった印象深い思い出があります。村崎さんには、「コーヒーに虹が出たを、柄谷さんにも色々な記事を掲載していただきました。

出来た。色塗り体験は乗ぼやヨーヨー、手回しゴマを用意して、色塗り体験を行った。開催予定の兵庫県三木市でもやってくれると嬉しい。感想を聞いてみると、「大建労寝屋川支部の仲間がいて、安心して話が出来た。色塗り体験は乗ぼやヨーヨー、手回しゴマを用意して、色塗り体験を行った。開催予定の兵庫県三木市でもやってくれると嬉しい。感想を聞いてみると、「大建労寝屋川支部の仲間がいて、安心して話が出来た。

寝屋川支部CCUS登録会 組合員の力になれる支部であり続けたい



【寝屋川支部 岡田洋人】組合などでCCUS関連の話はよく聞きます。事務所でCCUS登録会が、実際に組合が関与してCCUSについてお手

てCCUSについてお手

てCCUSについてお手

てCCUSについてお手

てCCUSについてお手

てCCUSについてお手

てCCUSについてお手

てCCUSについてお手

VOICE

食料自給率 低下やコメ不足・高騰は長年の自民党農政の帰結にほかならない。農業再生に早急に本気でとりくまなければ、コメの自給すら危うくなる。石破政権は農産物の輸入拡大を「トランプ関税」の交渉材料にしようとしている。米国はコメも輸入拡大を求めているという。政府はこれまで自動車など工業を守るために、農産物の輸入自由化を拡大し農業を犠牲にしてきた。その結果、農業は衰退し食料自給率は38%まで低下した。▼国の米政策は90年代から市場まかせに転換し、米価は生産量などによって暴落したり高騰したりと乱高下。そのうえ、米需要の減少を前提に生産量をぎりぎり抑えて減産を進めてきた。08年から水田活用直接支払い交付金により、主食用米から飼料用米、米粉用米、麦、大豆などへの転作を奨励。▼主食用米作りは近年、生産費の高騰で持続困難となり、離農が加速し、米の生産基盤は弱体化。このままでは米の自給すら危うい。▼米農家は2020年までの20年間で6割減少した。基幹的米農家の59%が70歳以上で、20年後に中心となるべき50歳代以下は6万人しかない。▼米農家が安心して生産でき、生活できるような、価格保証や所得補償が急がれる。そのためにも米生産を守り増やして十分な量を確保すべきだ。

第七十七回住吉支部定期大会

【住吉支部 中野照司】 令和六年度の決算報告、七年度の活動方針、予算案が満場一致で可決されました。

浦支部長他全員が二年間、皆様、今後ともよろしくお願ひします。

令和六年度の決算報告、七年度の活動方針、予算案が満場一致で可決されました。

大会後の懇親会では、日常の楽しかったことや不満などで中々話が終わらない程充実した会話が繰り広げられていました。

例年見かける顔ぶれに加えて今年度初めて参加された二名の組合員の姿もありました。

そして、支部役員は廣



第77回住吉支部定期大会の様子

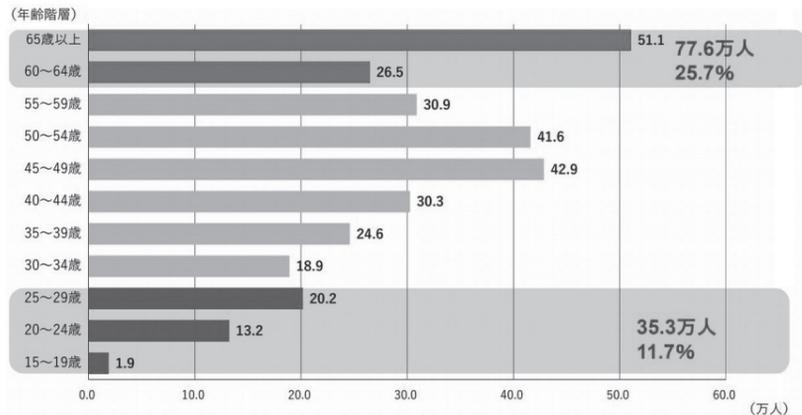
八十九歳の作業員が事故死の衝撃 深刻過ぎる建設業界の高齢化

【教育宣伝部発】

香川県の建材会社の資材置き場で、作業員がコンクリートミキサーの下敷きになって死亡するという報道に目を疑った。

危険な機材や重機が多い中、筋力や体力を用いての労働を必要とされるブルーカラーの現場では、こうした事故による労働災害が頻発する。今回のような落下物による死亡事故は建設現場では多く、それほど珍しいケースではない。

建設業は、認定されているだけで二十九もの種類がある大きな産業だ。社会インフラでもある建設業の就業者数は、一九九七年の六百八十五万人をピークに年々減り続け、二〇二三年には約三十万減の四百八十三万人に



年齢階層別の建設技能者数 (出典:国土交通省)

懸念されるのが「労働災害」だ。

建設業の現場には、いわずもがな資材や重機、工具などといった「重量物」や「危険物」が多く存在している。そのため作業員には、体力だけではなく、危険が迫った時のとっさの判断力や反射神経が必要になることは想像に難しくない。

高齢化が加速する昨今、国は生涯現役を謳い、「高齢者でも働ける」政策を積極的に進めているが、それと「高齢者でも働かなければならない」とは線引きを明確にする必要がある。

肉体を酷使する仕事であるにもかかわらず、年金だけでは生活できない人たちのセーフティネットにすらなっているブルーカラーの現場においては、高齢労働者の救済こそ、現場の労働災害を減らす最大の近道だ。

現場は慢性的な人手不足に陥っており、建設業界ではかなり早い段階から外国人労働者を受け入れてきた。

建設業界における年齢階級別技能者数を見てみると、二十代以下の若手労働者は十一・七%しかない中、六十五歳以上の割合が二五・七%と、この年齢層よりも多くなっている。

現場の高齢化が進むと

現場から姿を消す ニッカポッカ

【教育宣伝部発】

中高年世代に「建設現場の作業服はどんなものか」と問うたら、その多くが「ニッカポッカ」をイメージするのではないだろうか。

ニッカポッカとは、建設業の中でも重職など高所作業が多いため、現場で着用禁止になっているという。

その理由の一つは、「ヒラヒラして危険なヒラヒラ」という、皮膚なもの。建設現場をはじめとするブルーカラーの現場では、「挟まれ巻き込まれ」による事故がよく起きると勘違いされるからという。

しかし昨今、そんな定番の作業服が、多くの現場で着用禁止になっているという。

その理由の一つは、「ヒラヒラして危険なヒラヒラ」という、皮膚なもの。建設現場をはじめとするブルーカラーの現場では、「挟まれ巻き込まれ」による事故がよく起きると勘違いされるからという。

交通事故の損害賠償の時効

法律相談Q&A

2025.6.1

Q 交通事故に遭ったのですが、相手方との損害賠償の話がなかなか折り返わず、解決していません。一定期間が経つと時効によって請求できなくなるという聞きまし

よつなことに気を付ける必要があるでしょうか。

A 交通事故による損害賠償請求権は、被害者(死亡事故の場合は相続人)が「損害及び加害者

を知った時」から5年間(2020年3月31日以前)の事故の場合は3年(行使しないときは時効によって消滅します(民法724条前段、自賠法4条)。

時効を止めるには、訴訟などの裁判手続(裁判上の請求)をするか、加害者による債務の承認が必要になります。通知内容証明を含む)を送るなどの裁判外での請求催告(の場合、相手方のもとに請求書が届いた日に時効は一旦止まりますが、6ヶ月以内に裁判などの法的手続を取る必要があります。

諸説あるが、あの「ヒラヒラ」は高所で風の向きや強さを読んだり、障害物に触れる感覚で危険を予測したりするためのデザインだと言われている。

しかし昨今、そんな定番の作業服が、多くの現場で着用禁止になっているという。

その理由の一つは、「ヒラヒラして危険なヒラヒラ」という、皮膚なもの。建設現場をはじめとするブルーカラーの現場では、「挟まれ巻き込まれ」による事故がよく起きると勘違いされるからという。

また、もう一つの理由として、「ガラが悪く見えるから」というまさかの「見た目」。同じ「見た目」の理由からブルーカラーの現場では一部「日焼け防止として半袖の制服の下に長袖を着ることを禁じているケースがある。その「下に長袖」という着用の仕方が、「入れ墨やタトゥーが入っていると勘違いされるから」という。

ブルーカラーは門戸が広く多様な人がいることとは間違いない。中には本当にタトゥーが入っ

マイ・ベストショット

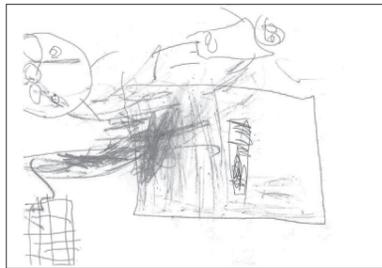


二〇二五大建労働メーデー 「レ」風大ちゃん

因子」という真逆の解釈がなされるようになり、徐々に姿を消しつつある。

また、もう一つの理由として、「ガラが悪く見えるから」というまさかの「見た目」。同じ「見た目」の理由からブルーカラーの現場では一部「日焼け防止として半袖の制服の下に長袖を着ることを禁じているケースがある。その「下に長袖」という着用の仕方が、「入れ墨やタトゥーが入っていると勘違いされるから」という。

ブルーカラーは門戸が広く多様な人がいることとは間違いない。中には本当にタトゥーが入っ



寝屋川支部 新井風向さん



門真支部 柳澤晴空さん

青年部お絵かきコンテスト 参加賞



寝屋川支部 新井蓮叶さん